

文学研究科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学研究科は、伝統的な学問研究の基本的な枠組みを維持して専門分野の研究に必要な素養を身につけた人材の育成を図るとともに、高度の学業及び研究を積んだ研究者並びに高度の専門性に裏付けられ、様々な職域及び地域の発展に寄与し得る人材を育成することを目的としています。そのため、本研究科は、人間と社会への深い関心と知的好奇心に富み、専門性の高い研究に取り組むために必要な基礎的知識と学力を有する人を求めています。その上で、各専攻は次のような学生を求めています。

日本文学専攻

- ・現代の国際化社会の中で日本人が立脚している足元に強い関心を持ち、その意味をより深く探究したい人
- ・日本文学、日本語学、漢文学、日本語教育学のいずれかの分野についての基礎的な知識を持ち、さらにそれを深めたい人
- ・本専攻で培われた専門的能力をいかし、学校教育、社会人教育、外国人への日本語教育などの分野で社会貢献を目指す人

芸術学専攻

- ・芸術全般に広く興味を持つ人
- ・美学、日本美術史、西洋美術史、アートマネジメント、美術実技のいずれかの分野に強い関心を抱き、美学と美術史、アートマネジメントについてはその基礎知識を持ち、美術実技においては独自の発想や豊かな性を有し、素描力と色彩表現力を備えた人
- ・本専攻で追究した専門性をいかすことで、アートの現場の他、広く社会に貢献したいと考えている人

英米文化専攻

- ・英語を通して見えてくる世界に強い関心と問題意識を持つ人
- ・英語の文献を読みこなす基本的な語学力と、英語学、英米文学、英米文化のいずれかの分野についての基礎的な知識を備え、さらにそれらを深めたい人
- ・本専攻で養った専門的能力を用い、英語教育の現場や英語力をいかした分野での社会貢献を目指す人

複合文化専攻

- ・広く文化一般に対して飽くなき好奇心を持つ人
- ・特定の文化的事象に対し強い関心を抱き、その専門対象についての基礎的知識を有する人
- ・専門的知識を深めることで、その成果を世界に向かって発信し、世界に貢献したいと考えている人

大学院説明会

2023年11月15日（水）16:20～17:50

※ 詳細については、ホームページをご覧ください。

<https://www.gpwu.ac.jp/info/2023/10/1115-1.html>



試験日程・定員 （一般選抜）

出願期間	第Ⅰ期 9月上旬	第Ⅱ期 1月上旬
試験日	第Ⅰ期 9月下旬	第Ⅱ期 1月下旬

研究科名	専攻名	募集人員
文学研究科	日本文学専攻	5名（男女）
	英米文化専攻	5名（男女）
	芸術学専攻	5名（男女）
	複合文化専攻	3名（男女）

※ 詳細は大学院学生募集要項をご覧ください。

<https://www.gpwu.ac.jp/exam/pos/requirement-pos/>



試験制度

- ・一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜、シニア特別選抜（55歳以上）
- ・学内進学選抜（本学学部在学学生のみ）

入学料・授業料

入学料 ※年ごとに変更されることもありますので、本学事務局までお問い合わせください。

種別	県内者及び本学の卒業生	県外者	備考
金額	141,000円	282,000円	入学手続時に納入

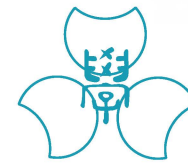
（注）県内者とは、下記の時点で本人、配偶者又は一親等の親族（父母又は子）のいずれかが引き続き1年以上群馬県内に住所を有している者とします。
※入学手続においては、入学料のほか、所定の保険料等の納入が必要となります。

授業料 ※年ごとに変更されることもありますので、本学事務局までお問い合わせください。

授業料	535,800円（年額） [2期分納 267,900円（前期分）、267,900円（後期分）]
-----	---

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
※納入時期は、前期分は4月（入学初年度のみ6月予定）、後期分は10月の予定です。

広い視野と深い学識をそなえる



群馬県立女子大学 大学院文学研究科

Gunma Prefectural Women's University
Graduate Program in Literature

▶ 社会人
▶ シニア
▶ 留学生
▶ 学生



日本語・日本文学を総合的・歴史的に学ぶ

英語と英米文学・文化を学ぶ

芸術および文化の本質を探究する

社会・文化・情報・メディアを追求する

日本文学専攻／英米文化専攻／芸術学専攻／複合文化専攻



お問い合わせ先

群馬県立女子大学大学院 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

TEL : 0270-65-8511

※メールでのお問い合わせは右のQRコードを読み取り、その先のwebフォームからお願いします。



大学院説明会 2023年11月15日（水）16:20～17:50 / 入学試験 第Ⅱ期：2024年1月29日（月）



群馬県立女子大学 文学研究科とは

広い視野と深い学識をそなえる

文学研究科（修士課程）は、日本文学、英米文化、芸術学、複合文化の4つの専攻からなる男女共学の大学院です。高度に情報化した現代社会においては、高等教育の場である大学院に求められる社会的な要請も多様化してきました。こうした要請に文学研究科として対応するため、専門分野の研究に必要な能力を着実に養うだけでなく、新時代のニーズにも応じた高度の専門性を要する職業に適應する能力や教養などを培うことにも積極的な役割を果たしていこうとしています。各専攻は、研究者の道に進もうとする方、専門的な能力や資格を得て、社会のさまざまな分野や職域、また地域社会や国際社会で活躍しようとする方、社会人として学び直し（リカレント、リスキリング）をしようとする方、生涯学習の一環として関心を持つ研究テーマを探究しようとする方など、高い目的意識を持つ多様な方々を受け入れるために、研究教育環境の充実を図っています。

文学研究科 4つの専攻

■ 日本文学専攻

日本文学専攻は日本語学と日本文学に漢文学と日本語教育学とを加えて、日本語・日本文学を総合的・歴史的に学ぶと同時に、個別のテーマによって研究を行い、研究者や高等学校教員等を目指すのに必要な、高度で幅広い学識・教養を身につけることを目標としています。



- 修士論文の例
- ・梶井基次郎研究—光との対峙—
 - ・江馬細香研究—頼山陽との関係を中心に—
 - ・源氏物語論—花散里に関する試論—
 - ・中国語と日本語における外国語の受容に関する対照研究
 - ・太宰治試論

教員紹介・研究紹介についてはこちらから▶



■ 英米文化専攻

英米文化専攻は英語学、英米文学、英米文化の3分野から構成され、英語、英米の文学、文化を中心とする研究を通して、高度な学識と学際的な教養を修得し、大学、高校、中学校教員をはじめ、英語を用いるさまざまな分野で活躍できる人材の養成を目標としています。



- 修士論文の例
- ・The Effects of Setting Information Preview on Listening Comprehension
 - ・Various Functions of English Imperatives and Various Forms of English Directives
 - ・The Storyteller in Music: Michael Jackson as an Author, a Star, and the "Implied Author"
 - ・The Values of Modern Tourism and Tourist Spots: To Protect Historical and Natural Heritages
 - ・Representation of African American Actresses in Hollywood Cinema—Focus on Whoopi Goldberg

教員紹介・研究紹介についてはこちらから▶



文学研究科の特徴

■ 少人数教育

少人数教育を徹底し、指導教員が学生個々人の関心に合わせた丁寧な個別指導を行います。

■ 専修免許状取得

一種免許状を持っている方は、本研究科で対応する専攻の修士号を得た場合、専修免許状（国語、英語、または美術）を取得することが可能です。

■ 『大学院諸究』

教育と研究とを通して、在学生の意欲的な研究や修士の研究成果の公表を支援しています。

■ 芸術学専攻

美学、美術史（日本、西洋）、アートマネジメント、美術実技（絵画、デザイン）の4つの領域があります。芸術の体系的な学び、歴史的な理解、また地域での実践活動や創作活動によって、芸術および文化の本質を理解する人材の育成を目標としています。



- 修士論文・修了制作の例
- ・金魚の見方と容器—大阪万博に用いられたとされる二つの容器を中心に—（美学）
 - ・キトラ古墳と高松塚古墳の壁画における主題についての考察（日本美術史）
 - ・中学校高等学校の美術科教材としての石膏像（西洋美術史、美術教育）
 - ・《dragonfly》油彩（美術実技、絵画）
 - ・《マインドセンスV》立体造形（美術実技、デザイン）

教員紹介・研究紹介についてはこちらから▶



■ 長期履修学生制度

職業をお持ちの方など、2年間で修了単位修得の時間が十分に確保できない等の事情がある方が、2年間分の授業料で最長6年の在籍・履修をすることが可能な制度です。

■ 大学院修学休業制度

公立学校の教員で一種免許状または特別免許状をお持ちの方は、任命権者の許可を受ければ、専修免許状を取得するため、1～3年間の休業が可能です。

★各専攻及び各種制度の詳細については、学生募集要項の大学院案内をご覧ください。

■ 複合文化専攻

人文科学の枠を超えた新しいコンセプトをもとに、領域を横断する科目群を設定しています。幅広い知識を身につけるとともに、独自の調査・研究の手法を開拓する力を持ち、地域社会・国際社会のリーダーとして活躍できる人材養成を目指します。



- 修士論文の例
- ・日本における演劇と劇場の関係性の変容—「プレイス place」としての劇場から「舞台装置」としての劇場へ—
 - ・社会現象にみる明治時代中期の文明観と個人意識—「決闘の流行」を題材として—
 - ・現在におけるオタク文化の受容環境と生成環境をめぐる研究—「ライトノベル」に見る隔たり—
 - ・石田三成の悪評について—「判官鼻眞」の観点から—
 - ・稲荷信仰と民間信仰の関連性

教員紹介・研究紹介についてはこちらから▶



修了生からのメッセージ

日本文学専攻 H.Nさん 2019年度修了
[公務員 勤務先/伊勢崎市役所]

修士課程では現代文学を研究していました。尊敬する先生方のもとで作品について議論を交わし研究発表をしたり、仲間との雑談から新しい知見を得たりと、刺激と発見の連続でした。

私は現在、市役所の福祉分野にて、困りごとを抱えた市民の相談を受け、適切な支援をする業務をしています。公務員として働くことはあらゆる人と関わることであり、まさに、さまざまな価値観を想像して理解しようとし、自分を見つめ直すといういなみであると感じています。

英米文学専攻 S.Iさん 2019年度修了
[教諭 勤務先/宮城県立視覚支援学校]

私は高校で英語教諭をしています。人生の折々で大学院に行って良かったと思う機会はありますが、私が最もそう感じるのは、教壇で生徒に「教科書には載っていないこと」を語って聞かせることです。面白い知識や物語には、沈んでいる生徒の顔をぱっと明るくさせる力があります。

大学院ではそういった知識を効率よく吸収することができますし、また様々な事柄に対して深く考える機会があります。他者との競争なく、ただひたすら自身の知的好奇心とじっくりと向き合うことのできる県大院のような学びの場は、私にとって本当に素晴らしい場所でした。

芸術学専攻 K.Sさん 2022年度修了
[芸芸員 勤務先/水野美術館]

大学院で過ごした2年間は、様々なことに挑戦する毎日でした。興味のあることを伝えていたおかげでいろいろな先生からお声がけいただき、自分の研究以外の活動や調査にも参加することができました。

先生方と接する時間が長い大学院だからこそ、学部とは違う学びの機会がたくさんあります。

授業や専攻の枠を超えて多様な活動に参加した経験は、社会人になった今、確かに自分の糧となっていると感じています。

複合文化専攻 T.Sさん 2022年度修了
[役者 所属/スペースクラフト・エージェンシー株式会社]

大学院を修了して、現在学んだことすべてが生かしているかどうかはわかりません。ですが、大学院に進学してよかったと思います。学んだ姿勢、知識は自分が思いもよらないところで役立つものです。

2年という学部生からしたら短い期間ではありますが、とても濃く、貴重なよい経験と自信をもって言えます。

少しでも興味のある事柄があるのだとしたら、その知識を深めてみませんか？ 思いもよらない発見があるかもしれませんよ。